



## ゆうな医療・介護の相談たより

2022年 9月号

発行：沖縄県ゆうな協会 医療・介護の相談窓口

電話：098-832-9528

E-mail：iryokaigo@yuunakyokai.jp

医療・介護の相談たよりでは、ゆうな協会の相談に関する取り組みや、医療・介護・福祉に関する制度・サービス、皆さんから寄せられた相談・質問の中で、共通する内容等を守秘義務を遵守し、ご紹介していきます。

**相談専用のメールアドレスができました！**プライバシーを尊重し、個人情報に配慮し、秘密は厳守致します。メールでのご相談もお待ちしています。

●**今月の相談：「裏傷（足底穿孔症）があり、普段は底の厚い靴に中敷きをして歩いています。最近転ぶことが多くなり、後遺症ではなく違う病気ではないかと心配です。勇気を出して検査を受けたいのですが、1人で行って後遺症のことを説明するのは不安です。でも家族と一緒に行って、家族に迷惑がかかるのは嫌なので、受診に同行して欲しいです。」**

Q：男性、70代。一人暮らしで、周りの知人や友人にも回復者であることは言っていません。長い間悩みましたが、勇気を出して検査を受けることにしました。でも何処にどのように受診したら良いかわかりません。また、後遺症があることを説明するのは不安です。子どもは独立して別に居ますが、子どもも周りには回復者の家族だとは言っていません。子どもと一緒に行って、回復者の家族だと知られ、家族が偏見や差別を受けたり、迷惑がかかるのは嫌です。だから、専門の人に受診同行を手伝って欲しいです。

A：転ぶ理由をはっきりさせたいというお気持ちなのですね。また長い間受診することを悩まれたとのこと、受診することによる色々な影響を心配されたのだと思います。それでも勇気を出して、初めての病院を受診しようと決められたことを応援します。受診に同行してくださる方がいない場合は、ご本人の希望があれば、相談員の日程を調整して同行しています。受診の段取りや院内での個人情報の保護や配慮等、ご本人の意向を尊重し、病院のソーシャルワーカーを窓口にして、安心してスムーズに受診できるようにします。また、できるだけご本人がご家族と相談して、ご家族が同行されることもお勧めしています。ご家族も高齢になられたご本人のこれからを心配されていると思います。一緒に今後のことを話し合うことができる機会になると良いですね。



### ●今月のピアサポート活動等の紹介：

・楓の友の会は、コロナ禍のため、対面ではなく電話やメールで近況報告を行っています。